

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	有限会社 シエナリゾート グループホーム ことぶき( )	評価実施年月日	平成21年11月14日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年11月23日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>理念</p> <p>私たちは入所者一人ひとりに寄り添い地域社会(町内会、近隣)と交流し仲良くしてもらって、その人らしい暮らしと安心を支えていきます。</p>	<p>優しい…くらは愛 ほほえみ…楽しくいつも笑い声が聞こえる。自由でおだやかにくらす あんしん…より健やかに、しあわせ感がある</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>日々のくらしの場面で楽しくおだやかな1日をおくることのできる。そして安心、健やかな毎日になる生活をフォローするよう一丸となって取り組む。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>来所したご家族様には生活の様子などを伝えている。地域、近隣の方々には折に触れて行事などに参加いただき、お付き合いをさせてもらっている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>いつも近隣の方々とは挨拶したり、気軽におしゃべりをしたりしている。ベランダから声をかけてもらいお花をいただいたり、楽しいおしゃべりに花を咲かせている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>朝日地区市民委員会、3-21町内会などの活動に参加、地域住民との交流を深めている。</p>	<p>(3-21町内会 観楓会21.10.4 東花苑 2名参加)</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ご近所の老夫婦はここはどんな人が入れるのかなど、具体的なことを相談してくれたり、地域社会の高齢要介護などに将来に向けて役立つアドバイスをしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員全員が意義をよく理解している。毎日の意識あわせ(朝のミーティング)振り返り、見直しを継続し、生活くらしの質の向上の確保に努めている。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	職員会議では入所者様の生活状況の報告、意見、要望などを取り入れ、毎日のくらしにいかしたり、放火事故の予防、防止など生活サービスの向上に活かしている		火防講話(H21.5.26)朝日地区市民委員会火防部長の講話を受講(全員)放火犯はどこにでもいる。(燃えやすいもの人の目に付く生活の場などに置かない。巡回して見ること)
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	地域包括支援センターとの情報交換、連携、研修などへの参加ほか地域の社会資源としての役割をになう。		空床状況の情報提供を行うほか入所希望者の情報入手ほか入所につながる可能性、見通しなど希望に沿える支援を用意。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	成年後見制度(現在1名利用中)について研修参加の機会があれば積極的に学ぶ機会を得て他の職員への伝達研修を行い、必要時の活用ができる様支援する。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束ゼロ、虐待ゼロ推進委員会(H18.12設置)は適時に随時に学ぶ機会を得ており(施設長機会研修)職員倫理綱領の遵守徹底を期している。		
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約時の説明などは充分に行うと共にご家族などの不安、疑問などあらゆることについて、理解、納得を得られるよう努めている。		毎日の食事栄養の経口摂取不能状態になることをはじめとして、病状の急変、悪化、不測の事故による怪我など、中長期の医療機関への入院などは1ヶ月をめどに解約、退去の方向性で理解を得る。(担当Dr.担当MSWとの情報交換収集必要)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご本人様より不平、不満、苦情、意見などへの対応は、その都度汲み上げて日常のケア、暮らし、生活で反映できるように努力する。		ご意見箱設置(H19.10.31)などにより、意見などの出しやすい働きかけをする。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	積極的に暮らしぶりを報告するようにいつも心がけている。ご家族様来訪時またはその都度適時に心情の状況他なんでも変化状況などをお話している。		あらゆる接点での暮らしぶりや健康状態変化、受診時のHP担当Dr.のご指導、金銭出納などは提示のお手紙で報告している。(月1回以上)
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の意見、不満、苦情などはいつでも真摯に受け入れ、受け止めてより良い生活への運営に反映させていきたい。		ご本人、ご家族からの苦情などは速やかに確認しながら、課題を分析、検討、生活の安定、向上に質する。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝のミーティング、ミニカンファレンスをはじめ、日頃から意思疎通を図り、意見、提案を聞きこれを汲み上げ反映させたい。		毎月第3金曜日は職員全体(全員)会議を設け、意見要望を聞き、意欲向上、メンタル面のモチベーションアップを目指して前向きな状態(肯定的)になれるように自分コントロールして練える。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	余裕は全く無いが、状況の急変などに即応体制可能な心構えなど普段から話し合っている。(介護主任、管理者の応援を得る)		時間外、夜間、深夜対応(早朝含む)公休者でも柔軟に対応出来るよう体勢を整えたい。
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	必要最小限の異動にとどめたいが諸事情により勤務に支障が生じ離職したケースがある。ご利用者への不安、不満を与えない考慮をする。		H20年6月1名離職(6月1名採用)のみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員自らの経験をし、実践の習得を段階的に身につけ学びの機会として研修会等に参加し、研修内容を報告する報告書を作成している。</p>	<p>毎月行われる職員会議の場で研修報告書を発表出来る場をもうけたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>関連の事業所や他GHへの見学や研修、学習会での交流をもつことでサービスの向上に励んでいる。</p>	<p>同業者と交流により、サービスや職員育成に役立つ実践的なものになっているか、確認する。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員の疲労やストレスの悩みを把握し、心身を休める休憩室を確保し、緩和していくよう努めている。</p>	<p>他のGHや事情所との交流の場を作り、気分転換のできる機会を作りたい。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職員の日頃の努力や実績等を把握し、職員が向上心を持って働ける環境作りに努めている。</p>	<p>職員の労働条件を整え、心身の健康を保つ為の対応をしている。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>本人の思いや不安を受け止め、今の状況を理解し、信頼関係を作っている。</p>	<p>利用者や家族の思いを受け止め、話をよく聴き、安心してもらえる関係作りをする。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族が求めているものを把握し、今何に困っているか等、ゆっくり話を聞き、次の相談につなげている。</p>	<p>ご家族のこれまでの苦労や、体験、思いを理解しながら受け止めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族の実情や要望をもとに、何が必要か見極め、必要に応じたサービスを実行している。		他のサービス機関と連携しながら、対応したいと思います。
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	利用者一人ひとりが、安心してサービスを利用できるよう、ご本人、家族が何度も訪問していただき、徐々に馴染める様に工夫している。		本人やご家族が事業所を見学し、本人の納得を得て利用に至るよう支援する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	本人の思い、苦しみ、不安、喜びなどを知ること努め、共に支え合い、和やかな生活が出来る関係性を築いている。		利用者の得意分野で、本来の個性や力を発揮出来るように、場面作りや声掛けをする。
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族に、日々の暮らしの出来事や、気づきの情報共有に努め、共に支え合う思いで、支援している。		ご家族と共に、一緒に本人を支える姿勢で、人間関係を築いていく。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人とご家族とのつながりが深めていけるよう、ご家族が関われる場面や機会作りを心掛けている。		が家族、本人の状況をみながら、外出・外泊で一緒に過ごし、良い関係を築いていく。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの知人、友人等と、継続的な交流ができる支援に努めている。		本人が支えてくれたり、本人が支えてきた取り巻く人間関係が途切れない様な配慮をする。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の関係性について、うまくいく様情報連携し、共に暮らしを楽しめる様、支援している。		利用者同士の関係や、力、個性を活かす配慮をしていく。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	利用終了後も、行事に招待したり、来てもらい、継続的なお付き合いが出来るよう心掛けている。		終了後でも、本人やご家族が不安を抱いたり、孤立をしない様、相談に応じ支援する。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で思い、希望(買い物、デパート、スーパー、お友達の家)がかなえられる様に、本人本位に検討できる事から実践している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人の人生物悟(バッググラウンドアセスメント)をできるだけ把握し、これまでの暮らし方などこれからのホームでの生活に活かしていく。		本人の為の生活援助、支援に活かせることを目的とし、プライバシーへの配慮を忘れない。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	暮らしの現状と生活のリズム把握に努める。出来る事に着目し、本人全体像をつかみ、ケアに活かす。		援助・支援の方向性、ケアの重点、項目などを統合的に把握して、入所者様のQOLを目指す。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人の暮らしがより良くなる為の希望や意向をくみ取り、これをプランに反映させる事は重要であるので、計担を中心にチーム全員で討議して作成する。		より良い暮らしの実現の為のケアプランを、ご家族と話し合い乍ら希望に沿えるようにしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	心身の状況の変化に対応したケアプランの見直しなど、ご家族・本人と話し合った上で現状に即した新プランを作成している。		
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人ケース記録は日々更新記録し、毎日の気づき、変化、特変、工夫などを記入し、個別に実践できるよう活かす。		食事、水分量、排泄等身体的状況及び日々のくらしの様子や本人のことはを記録している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご本人とご家族さんとの外泊(温泉旅行・自宅へ帰り過ごす)、外出(買い物・お墓参り)、詩吟教室などの趣味活動など、家族さんと共に支援している。		季節ごとのドライブ(イチゴ狩り・花見・紅葉狩り等)、個々に合わせたお出かけ(買い物・美容院・神社等)を支援している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	南消防署と町内の方の協力により、防火避難訓練を連携し実施している。		地域の方との交流として、夏祭りなどの行事に参加して頂いています。体調・状態をみて、もっと外出したり、色々な地域の方とも交流していきたいです。
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービス活用支援は、特別していません。必要に応じて色々な支援を取り入れたいです。		旭川市保健福祉サービスや社協ボランティアを積極的に利用していきたいと思います。
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	豊岡・東旭川地域包括支援センター・東光・千代田地域包括支援センターとは、情報を交換したり、協力関係を築いている。		中央地区包括支援センターとも連携を図りたいと考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所前からのかかりつけ医による継続的医療を受ける事が出来、本人が安心できるように支援しています。ご家族さんが対応して通院して下さる方も何人かいます。</p>		<p>受診後には、ご家族さんに診断内容を報告し、介護職員は受診結果をケース記録に記載して、職員全員が把握できる様にしています。</p>
<p>44</p> <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>協力医療機関は、認知症の専門医ではなくても理解をもち、適切な指示や助言をしてもらっていると信頼しています。</p>		<p>認知症専門医に治療を受けている方もいて、今後も指導を受けられるよう支援する。</p>
<p>45</p> <p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>施設長が准看護師なので、日常の健康管理を仰ぎます。</p>		<p>協力医療機関は、24時間対応可能です。</p>
<p>46</p> <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院によるダメージを極力防ぐ為に、医師と話しをする機会をもち、事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院出来るように相談しています。</p>		<p>本人が安心出来るよう、お見舞いにも行き、ご家族さんとも情報交換しながら、回復状況等速やかな退院支援に結びつけている。</p>
<p>47</p> <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>重度化に伴い、対応出来る最大ケアについて説明をし、それを踏まえた上でご家族さんの要望に応えるよう支援する。</p>		<p>日常の健康管理と急変時に対応する。</p>
<p>48</p> <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>終末期は対応していません。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>他の事業所に移られる前に関係者の方へ、本人の詳しい情報・支援状況を渡し、その方の尊厳を失わないようにしています。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個々の考えを尊重して、思いやりの気持ちを持って接する様に心掛けています。個人情報もれのないように、会社全体で秘密保持を徹底しています。</p>		<p>いつもプライバシーの確保に努める。</p>
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>訪問販売のパン屋さん(パン吉)が月1回来てくれて、自分でパンを選び買っています。</p>		<p>希望時に、一緒にスーパーへ買い物に行き、自分の欲しい物を買ってます。</p>
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者さんのペースに合わせて生活を支援しているつもりでも、職員都合に合わせてもらっている事が多々あるので、気をつけていきたい。</p>		<p>一人ひとりのペースに合わせて、ゆとりのある生活支援を提供したいと思います。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>近所的美容室へ同行、定期的に来て頂く理容室などを利用してもらっています。また、季節やその方の好みに合った衣服やアクセサリーを選んで頂き、その方に合った支援をしています。</p>		<p>外出時・お買い物時の服装などオシャレのアドバイスをします。</p>
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>その方の体調を見ながら、食事前のお茶・お水・おしぼり・エプロンの用意、食後の片付けなどを職員が見守りながら行っています。</p>		<p>一緒に下ごしらえや、後片付けをする。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲み物、おやつなど一人ひとりに対応し、日常的に楽しめるように支援しています。		ご家族の方が飲み物・お菓子(果物)などを持って来て下さる事があるので、安心して食べて頂けるように取り組んでいきたいです。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄の仕方を理解し、その方が不快な思いをせずに、安心して排泄出来る様に支援しています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週2回の入浴がありますが、個々の入浴の順番、お湯の温度、体調に気をつけながら、安心して入浴して頂く様に努力しています。		入浴時に身体の変化(皮膚・爪・顔色)などにも気を配りながら支援しています。入浴の嫌いな方にも声を掛け、安心して入浴して頂くようにしたいと思います。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	定期的な居室への巡回、不眠時にはお話しなどをして、安心して安眠できるように支援していきたいと思っています。		夜間どうしても眠れないとの本人の訴えがあった場合は、眠剤を服薬して頂く事もあります。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	もやしの芽取り、おやつ作り(カボチャ団子等)や漬物の漬け方の相談などのお手伝いを楽しんで頂けるように取り組みながら支援しています。		やはり、日常的に自分の役割をこなすなど、張り合いのある日々を過ごせるよう支援する。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	近所のスーパーに買い物に行き、自分で選んで買って頂くように支援しています。また、パン屋さんの定期的な訪問時には、一人ひとりに声を掛け、買い物をしてもらってます。		お金は、買い物時に本人に渡して支払いをして頂けるように支援しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	公園への散歩、暖かい日は外での日光浴などを行っています。		普段あまり外に出ない方にも声を掛け、日常生活に変化を持っていただけるように支援していききたいと思います。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	季節によってお花見・遠足・紅葉狩りなどを楽しんでもらい、季節を感じてもらっています。その他にも、イチゴ狩りやぶどう狩り、ドライブなどを楽しんで頂けるように支援しています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	本人が電話をかけたいとの話しがあった時は、いつでも電話をかけてもらい、安心してもらっています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも訪問して頂けるように、職員一同で心掛けています。ご家族さんの方の訪問時には、その方の生活やイベントでの出来事、レクリエーションでの様子などをお伝えします。地方の方が訪問された時には、何日でも泊まって頂けるように支援しています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員が身体拘束の内容を理解し、拘束のないケアを心掛け、実践しています。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	個々の意見を取り入れながら、日中・夜間共に施錠をしないでも安心していただけるように支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員が複数勤務している昼間は、できるだけ分散し、広く目がいきわたるように努力している。夜間は定時巡回だけでなく随時巡回を行い、安全に配慮している。		安全を図りつつ入居者一人ひとりの思い(希望)を出来る限り叶えられるような介護をしていきたい。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	個人で居室に置いているものを担当者を中心に把握し、管理を徹底して、危険のないようにしている。		入居者の希望で使用する時には、見守り介助するようにしている。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故を未然に防ぐため、入居者本人と相談しながら家具の配置など工夫したり、現在の状態に合わせた服薬介助するなど職員同士で意見を出し合いながら取り組んでいる。		入居者の状態や介助情報を徹底して記録し、職員の共有認識を図っている。記録することだけにとらわれず、職員同士の会話の中でも情報を交換し合い日々の介護活かしていきたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	夜間でも直ぐに応援の職員が駆けつけられるように連絡体制を整えている。また応急処置、救急救命処置を行えるよう努力している。		定期的訓練は、規定に基づき随時行っていく。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練を通じていざと言う時に冷静に避難誘導できるように普段から準備している。避難訓練時は近隣住民の協力を得られる様に共に参加してもらって理解を得ている。		消火訓練避難は、南消防署指導により地域住民近隣と連携し、協力を得て実施した。天災、非常災害(地震、落雷、豪雨ほか)時の避難についても日頃からイメージをもって生活する。(情報収集、ラジオ、TV、国、道、市)
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	家族の来所時にはホームでの様子を包み隠さず伝え、信頼関係を築くようにしている。また、これから起こり得るリスクについても率直に話合うようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	一人ひとりの普段の様子をよく知り、体調の変化や異変の発見に努め、小さな変化でも報告、記録するとともに状況によりかかりつけ医に受診し相談するようにしている。		日々のバイタルチェックだけでなく、常に顔色や様子に注意し兆候を見落とさない様にしている。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬ファイルの整理・整頓をし、薬の内容、効能を把握するようにしている。服薬の苦手な入居者には工夫して服薬の介助を行っている。		誤薬等の防止にも役立つよう整理、整頓を徹底している。服薬の介助も確実に行う。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	予防として便秘がちな入居者には積極的に繊維質・乳製品を取るよう勧めたり、散歩など身体を動かす機会を多くしている。また、下剤の服薬と排便の記録をとるようにしている。		入居者のプライバシーに配慮しながら便秘がちな入居者の排便を確実に記録していきたい。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	日頃より声掛けしながら口腔ケアを行い、状態を把握するよう心がけている。		毎食後のお口の衛生に心がける。うがい、歯ブラシの援助。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事の栄養や水分の摂取状況を毎日チェックし、表に記録。1日に摂取すべき水分最低必要量 1,300ml/日		栄養摂取(体重50kg×30cal=1500kcal、労作によりカロリー変動している) 起床～朝食～10時のお茶タイム、500cc以上 水分摂取時...昼食～おやつタイム500cc以上 夕食～寝る前まで300cc
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ノロウイルスの感染予防など国・道・市などの通達に基づき機会教育を実施中。インフルエンザ予防接種は、入所者全員接種、職員は任意にて接種している。		インフルエンザ予防接種(21.10.15～ )まで支援。ノロウイルス対策をしてペーパータオル使用している。 トイレの便座、ドアノブ、手摺り、床などの環境に塩素系消毒剤による消毒(希釈250倍)5の水に漂白剤キャップ1杯(20cc)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎日の調理用具等の衛生管理を徹底、新鮮で安全な食材の使用。</p>		<p>台所、調理用具の清潔、衛生管理方法取り決めがあり、実行中。まな板、ふきん等塩素漂白し、清潔を心掛けている。計画した食材の買物、食材の残り物は鮮度や状態を確認し、冷凍したり、処分したりしている。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>近隣の方達が来られても、明るく広い空間の玄関まわりを心掛けている。</p>		<p>玄関に邪魔にならない程度の季節の花、物等を飾り心を和ませている。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は常に居心地がよく、安心感のある過ごしやすい工夫を心掛けている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人ひとりの居場所があったり、3条本通り側の窓際に藤の椅子が1脚あり、状況に応じ椅子を使用しながら、仲良しの方々と外の様子を見ながら時間が過ごせる。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者、ご家族との相談で、いつも使用し、愛着ある物等を置く事で居心地よく、心穏やかに過ごせる。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>窓を開け、空気の入替えや温度調整にいつも気を配っている。</p>		<p>乾燥しやすい時期には、特に洗濯物以外にタオルを濡らし、干す等湿度の調整をしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>階段の滑り止め、廊下の手摺り、段差も無く、バリアフリー対応されており、一人ひとりが転倒、つまづきがない様、配慮して見守っている。</p>	<p>食堂周り等でのつまづきがない様、常に注意を心掛けている。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>混乱を招くような環境の原因があれば、随時工夫していったり、改善していく。</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>外回りはプランターの鉢、ベランダには花畑と畑を作り、四季に応じて水やり、草取り、狩り取りを一緒に行い、楽しむ。</p>	<p>来年度に向けての苗選びを一緒に検討していきたい。</p>

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>利用者の個々の思い、願い、気持ち等を組み取ってあげ一緒に暮らせている。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>その時々で一緒に席で座りTVを見る際は一緒に笑い合えゆったりと過ごす時間が流れる。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>個人個人のペースにて暮らしている中にさりげなく援助を行っている。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>一人ひとり、自分の空間スペースの中で過ごし、楽しんでいます。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>天候を見て要望に応じ散歩、買い物などを行っていますまた季節ごとの外出もあります。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>身体の衰えを防ぐ為、時間の合間を見てラジオ体操、軽運動を心がけ定期受診、緊急時の対応、不調時には医療機関への報告、連絡を行っています。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>その都度、状況や要望に応じ話し合い相談を行い安心して生活をしていると思います。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p> <p>ご家族さんとのコミュニケーションは大切にしています。要望や不安な事は話し合い心身の状況説明も行い信頼関係は出来ていると思われず。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>グループホームの行事にも交流があり共に助け合っています。</p>

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	推進会議、構成員、地域町内の方との関係が深まり理解者や応援者が増えています。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	一日一日を大切に笑顔を忘れず元気に働いています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	利用者さんの様子や表情を見てると概ね満足されていると思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	家族さんとの報告、連絡、相談はその都度行い概ね満足されていると思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

利用者さんと共に野菜作りや収穫、花壇作りを楽しみ満足していただける生活を今後もつづけて行きたい。

職員手作りのおやつ(アイスクリーム、ゼリー、ホットケーキなど)も楽しめます。

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	有限会社 シエナリゾート グループホーム ことぶき( )	評価実施年月日	平成21年11月24日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年11月25日

北 海 道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	一人ひとりに寄り添い、地域と交流しながら、安心の暮らしを支えます。 優しい暮らしは愛・ほほえみ・楽しく穏やかに を理念にしている。		地域生活での関係を深めていきたいと思っている。
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎日のミーティングにおいて、ペースに合わせた優しい対応、寄り添って安心な生活が送れる様に職員と話合っている。		理念についての意識を日々の会話の中で深めていきたい。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	町内会の行事に参加したり、施設の行事にも町内の方、ご家族に参加していただき、折に触れ理解をいただく様にしている。		地域の方々にも浸透する様、取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	気軽に挨拶を交わし、おすそ分けを頂いたり日常的に付き合いを行っている。		避難訓練には町内の方にも参加していただき、緊急時には協力していただける様、お願いしている。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会の行事には参加し交流をしている。 町内に在るラーメン屋に出かけて外食したり、散歩の途中で喫茶店で休憩したり交流を深めている。		町内のリサイクル活動には協力している。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内の集会時に、高齢者向け体操を行ったり、認知症ケアについての相談を受けたりしている。		近隣の方に、介護予防や認知症に対する理解など、話し合いの場を設けたいと思っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価の意義を職員全員が理解し、自己評価を全員で取り組んでおり、サービスの質の向上に努めている。</p>	<p>評価結果は全員に報告、閲覧し、改善があれば即、実行し職員の意識向上に活かしている。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議では、事業所の取り組み内容を理解してもらい、具体的な防火対策や、いざと言う時の避難場所等についての意見をいただいている。</p>	<p>運営推進会議では、評価結果を公表し、構成員の方々の意見、要望を受入、サービスの質の向上に活かす。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市、担当者との研修会には必ず参加して、実態を把握する様にしている。</p>	<p>市、担当者との交流を深め、事業所の実状などを伝えて行きたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度は理解しており、必要と思われる方には、活用出来る様に支援している。</p>	<p>成年後見制度の研修会にも参加しており、ご家族からの相談にも応じている。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>普段から、入居者に対する態度、言葉遣いなどは話し合っており、身体拘束、虐待などは行わない様、職員同士で意識している。</p>	<p>玄関の施錠時は、ご家族にも説明、理解を求めている。施錠の無いケアに努めたい。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書の明示説明をし、ご家族の納得のうえ不安の無い状態で入居していただいている。緊急時、長期入院が必要な時の退居の目安などについても、ご家族や関係者との話し合いを行っている。</p>	<p>入居時に、今後の重度化や医療体制について話し合いをしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者の態度や言葉から、心理を見極めて対応したり、不満を表している時は、職員全員で情報を共有してケアをしている。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族の来訪時には、普段の生活ぶりや体調を報告している。金銭管理についても、預かり金の出し入れの明細書を毎月渡して報告している。		職員の移動時には、ご家族にも報告をしている。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の不満、苦情は、前向きに受け入れ、苦情の原因を探り、職員全員で検討し質の向上に努めている。		ご家族からの意見や苦情を伝えてもらえる様、意見箱の設置をしている。外部への相談がある場合、公的窓口の紹介もしている。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議やミーティング時に、意見要望を聞き入れ回答を伝える様にしている。職員が提案を出し易い環境、雰囲気づくりに配慮している。		職員との個別相談の時間を設けて、意見、要望を聞き反映させて行きたいと思っている。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	勤務シフトは職員の希望に配慮し、急な休みには交替を取っている。入浴日や行事には、状況に合わせたローテーションを組んでいる。		夜間、緊急時には、管理者が柔軟に対応している。行事、外出時には余裕のある人員確保をしている。
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員移動の時には、入居者に不安を与えない様に引継ぎを行っている。採用時には、認知症ケアに適した人材を優遇している。		新しい職員が担当する場合、馴染みの職員と一緒に対応するなど、入居者が不安にならない様に配慮している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部への研修は職員が交代で参加し、研修報告書や口頭によって、他職員に伝え、共有するようにしています。</p>	<p>今後も積極的に参加する事により、サービスの質を向上させていける様にして行きたいと思います。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>他グループホームの行事に参加させて頂く機会もあり、そういった交流を通して、当施設で参考にさせて頂いたりしながら、よりサービスの質の向上を目指しています。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>現場の介護員の事に耳を傾け、考えを理解するように心がけています。改善すべき点は早急な対応ができるように努めています。</p>	<p>年に数回ある職員交流会により交流を深め、親睦を図っている。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職員の努力や苦労をねぎらい、日々の仕事の成果を認め、向上心を持って前向きに仕事に就いてもらえる様配慮している。</p>	<p>向上心を持って働ける様、手当金など考慮したいと思っている。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前の面談の際には、ご本人の思いを傾聴し、信頼関係を築ける様に心がけている。</p>	<p>ご本人の今の思いを受け止める様、努めている。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご本人、ご家族が入居に至るまで、何度も来訪していただき、またこれまでのご家族の苦労や希望などを良く傾聴するよう努めている。</p>	<p>ご家族の、これまでやこれからの介護に対する思いをよく傾聴する様、努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族との事前面談の際に現状を見極め、ご家族の要望を把握しながら支援します。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に、ご本人が見学をして、どのような場所で生活していくのかを見て、雰囲気を感じて頂いている。また、入居前に機会があれば行事に参加して頂く事もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者は、人生の大先輩でありますので、これまでの人生経験を聴いたり、教えて頂きながら信頼関係を築いて行ける様努めている。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人の現状を常にお伝えしてご家族と共に支援していく様に努めている。		ご家族の要望を伺いながら、ご本人の支援に努めている。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族の訪問や外出等を勧めており、可能ならば行事にも参加して頂き、より良い関係を築いて行ける様支援している。		疎遠になったり、中々、来所できないご家族に対しては、年に数回発行する「ことぶき新聞」によりご本人の生活や様子をお伝えしている。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人の兄弟や友人など、馴染みの関係を把握して、訪問時には今後も関係が続く様に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	職員は入居者同士のかかわりを見守り、又は会話に加わりながら、入居者同士の関係が円滑になる様に支援している。		レクレーションや日々の生活を通して、入居者同士の関係がより良くなる様、支援している。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後でも、ご家族が来所して下さったり、連絡を下さり、継続的係わりをもっている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の行いの中で、言葉に表せない入居者には、特に真意を見極めて、その人らしく生活をしていける様、情報を共有している。		ご本人が一番望む暮らしについては、ご家族と話しあいながら検討している。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人から、以前の生活歴や暮らしぶりを聴き、ご家族の話からも支援に活かせるよう努めている。		情報を蓄積しながら、ご本人の全体像を把握する様に努めている。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの生活リズムを把握し、一日の行動、体調の変化を見極めて支援する。		職員が先に手を出してしまわず、できる事を見落とさずに支援して行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族の要望、意見を十分に活かして、日々の生活の中で本人の思いをくみ取り、カンファレンスしながら作成している。		職員全員で、モニタリングをして行きたいと考えている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	入居者に変化が生じた時や、ご家族からの意見があった場合、実情に応じたプランの見直しをしている。		3か月に一度は見直しを行う様にしたいと考えている。
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者の変化や実情は、個々のケース記録に記載し、毎日のミーティングで報告され、職員間で情報共有している。		個々のケース記録を元に、計画の見直しをしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご家族との旅行や外食などの外出支援、医療機関への通院、夜間救急なども柔軟に対応している。		季節に応じたプラン(いちご狩り・花見・紅葉狩り・冬まつりなど)、個々に合わせた外出(買物・散歩・美容室など)を積極的に実行している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	南消防署と、町内の方々の協力により、防火避難訓練を実施している。二条交番には施設の見取り図、職員名簿を提出している。		地域の交流として、行事(夏まつり・大正琴のコンサートなど)に参加して頂いている。
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービス活用支援は、していないが、必要に応じて、色々な支援を取り入れて行きたいと考えている。		旭川市保健福祉サービスや社協ボランティアを積極的に利用していきたいと考えている。
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	豊岡・東旭川地域包括支援センター、東光・千代田地域包括支援センターとは、情報交換をしたり協力関係を築いている。		近隣の中央地区包括支援センターとも、連携を図りたいと考えている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所前からのかかりつけ医による継続医療を受ける事により、ご本人が安心出来る様に支援している。</p>		<p>受診後には、ご家族に診断の内容を報告し、職員は受診結果をケース記録に記載して、職員全員が把握できるようにしている。</p>
<p>44</p> <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>協力医療機関は、認知症の専門医でなくても理解をもち、適切な指示や助言をして受けている。</p>		<p>認知症の専門医に定期受診している方もいる。入居者に受診が必要と思われる時には、ご家族と相談し支援をする。</p>
<p>45</p> <p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>施設長が准看護師で、日常の健康管理や、夜間でも指示、指導を受ける。</p>		<p>協力医療機関は、24時間対応可能です。</p>
<p>46</p> <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>医療機関、ご家族との情報交換や現状の確認を行い、早期に退院受入が出来る様に協力している。</p>		<p>ご本人が、安心出来る様、お見舞いにも行き、馴染みの関係を断ち切らない様にしている。</p>
<p>47</p> <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>重度化に伴い、ご本人とご家族の意向を確認しながら、医療行為で、入院が必要となるまで介護を支援している。</p>		<p>日常の健康管理と急変時に対応する。</p>
<p>48</p> <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>終末期には対応していない。</p>		<p>終末期の対応はしていないが、職員、ご家族と共にターミナルケアの理解と関心を深めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>他の事業所に移られた時には、先方の担当者にご本人の詳しい支援状況やケアプランを渡している。</p>		<p>今までの生活が損なわれ無い様に情報提供を心がけている。</p>
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個々の考えを尊重し、自尊心を傷つける事なく、思いやりの気持ちを持って、接する様に心がけている。 個人情報もれの無い様、常に配慮し認識している。</p>		
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>買物や散歩等の希望時には、一緒に外出し、買物には必要な物を選べる様な支援をしている。</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者のペースに合わせ、居室で趣味を楽しんだり、新聞やテレビを観たり、作業をしたりとゆとりのある生活を支援している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>朝の着替えの際入居者さんへ、どの色の服着るか聞き本人の意思を聞き入れている。又、お化粧品や髭剃り等の身だしなみも支援し取り組んでいる。月に1度の訪問理容も来て頂いて、入居者さんが望むようにしている。希望があれば行き付けの美容院へいける様努めている。</p>		<p>入居者さんが着たい服や、したいお洒落等の自己決定や意思疎通ができる様、職員が配慮している。身だしなみに気を付け生活の張りが出るよう心がけている。</p>
<p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>入居者さんの負担にならない程度のお手伝いを職員と共に行っている。菜園を作り入居者さんと一緒に収穫し実りを楽しんで頂いている。</p>		<p>年に数回外出の日を設けており、いつもと違う雰囲気ですべてして頂いている。おやつ等簡単な調理を職員と共に作り、ご自分で作ったと言う、達成感を得て頂ける様支援して行く。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>本人の様子や時間を見ながら買いに行ったりしています。タバコは禁煙なので、お酒は好きな方がいません。</p>		<p>外出可能な入居者さんについては、職員と共に買い物へ行き、望むものを購入し飲食して頂いている。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>尿意の無い利用者さんにも、時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄出来る様に支援している。</p>		<p>日中については、トイレ誘導の徹底に努めている。夜間については、定時の巡回に確認している。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>その日の利用者さんの希望や体調を確認し、入浴して頂いている。</p>		<p>季節のお風呂(ゆず湯・しょうぶ湯等)を取り入れ、気分を変えて入浴していただける様工夫する。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>なるべく日中の活動を促し、生活のリズムを整えるよう努めている。眠れない利用者さんには少し話を傾聴し、落ち着いた所を見計らい居室へ誘導し入眠を促す。</p>		<p>日中傾眠しがちな入居者さんに対し、職員からアプローチをし、談話したりしている。様子を見ながら、休息も取って頂いている。(入居者さんのペースで)</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事を頼みます。モヤシの芽取り・畑作り・草取り・花植え・お茶碗洗い・オシボリたたみ・掃除等</p>		<p>無理強いはずこれからも、お手伝いしていただく。入居者さんにとっての、生活の張りとなれば良いと考えています。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>少額を手元に持ってもらっている。家族さんよりお金預かり事業所が管理している人でも、外出時買い物したお金を自分で払って頂けるように、お金を手渡しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気と本人の気分に応じて、買い物・ドライブ・喫茶店・お祭り・お花見等に出かけます。		無理強いではなく、出掛けて見たいと入居者さんが思ってくれるようなさりげない声掛けを行う。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族さんの協力もあり、遠出の外出等は、家族さんと共に出かけている。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	会話が他の利用者さんに聞こえないように、電話の設置場所を工夫している。利用者さんの居室に電話がある。		入居者さんのプライバシー保護に努める。
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時間は特に定めてなく、気軽に来所して頂けるようにしている。又、遠方から来所される家族さんや友人が入居者さんと共に過ごし、泊まって頂ける様にもしている。		居室にて家族との時間をゆっくり取って頂いている。
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティングや申し送り時等で、その日のケアを振り返り自覚しない、身体拘束が行われていないか等を点検している。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関、電子ロック施設中。利用者さんが外出しそうな様子を察知したらさりげなく一緒についていく。		職員の目配りにより、入居者さんの行動を把握し、声掛けしながら様子を見ている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼・夜共に見守り易い位置にいて様子観察出来る様、工夫している。夜間は定時巡回と随時巡回(気配り・物音・水音)して、生活の安全に配慮。		日中・夜間帯及び休憩時間帯ともに五感を働かせて気を配る(気配・物音・足音・臭い・カーテンの音・水の音・クシャミ・咳)
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬・洗剤・刃物等の管理に充分配慮し危険の未然防止に取り組んでいる。		洗剤類は、鍵のかかる収納に収めて施錠して管理中。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人ひとりの状態から予測される危険を検討し、防止対策を行うよう取り組んでいる。自室での転倒・しりもち転倒などがある(ヒヤリハット) 誤嚥のリスクの高い人の食事介助、服薬介助について安全介護を徹底する。		赤魚の骨が咽喉の左奥に刺さり咽喉科での抜き取り処置をうけた。魚料理の骨取り、注意喚起を充分行って介助する。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	特に夜勤帯における急変、事故対応について症状により、応急処置、救急救命処置を行うと共に、バイタル測定他、症状や状況により救急隊の要請、家族への連絡、上司報告などを行う。		定期的訓練は、想定にもとづく、図上訓練を随時行う(実技訓練・消防署による実技講習、受講者2名)
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	昼夜を問わず、避難誘導が出来る様に、普段からのこころがまえを準備していく。普段から近隣・地域の人々の協力を得られるようにする。		消火訓練・避難訓練は南消防署により地域住民近隣と連携し協力を得て実施した。(H19・5・25 合計46名参加)
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	家族との信頼関係づくりは、普段から築いており、起こり得るリスクについて、いつも率直に話し合っている。見直しも随時行う。		状況変化に対応した説明はいつも心掛ける、特に夜間自宅での転倒などのリスク(ヒヤリハット)は、高く率直に話す。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)												
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援															
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>顔色、顔貌、様子を注意し、兆候を見逃さないよう、変化やサインを見極め報告記録する。情報は共有して、その後、医療につなげる等の対応を行う。</p>	<p>常に顔色や様子に注意をしている。</p>												
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の内容を把握し、管理、ファイルの整理整頓、服薬時は本人に手渡しし服用を確かめる。</p>													
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>下剤を使用している方もおり、予防に向けて状態に合わせて、繊維質や乳製品なども取り入れている。日常的活動、散歩など身体を動かす機会を多くしている。</p>													
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>口腔内の清潔は日頃から心がけており、個々に介助し声かけにより支援する。</p>	<p>毎食後に歯磨きの声かけを行い、必要に応じて介助、見守りをしている。</p>												
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養摂取量、水分摂取量をだまかに把握して、個別に記録している。一日の必要水分摂取量1300mlを目安に管理している。</p>	<p>(目安)</p> <table border="0"> <tr> <td>栄養</td> <td>BW1kg当り 30cal</td> <td>水分摂取量</td> <td>1日当り 高齢者 最低必要量</td> </tr> <tr> <td>45kg</td> <td>× 30cal = 1,350kcal</td> <td></td> <td>1,300cc</td> </tr> <tr> <td>50kg</td> <td>× 30cal = 1,500kcal</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	栄養	BW1kg当り 30cal	水分摂取量	1日当り 高齢者 最低必要量	45kg	× 30cal = 1,350kcal		1,300cc	50kg	× 30cal = 1,500kcal		
栄養	BW1kg当り 30cal	水分摂取量	1日当り 高齢者 最低必要量												
45kg	× 30cal = 1,350kcal		1,300cc												
50kg	× 30cal = 1,500kcal														
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>ノロウイルス感染予防など国、道、市の通達に基づき講習を実施中。インフルエンザ予防接種は入居者は実施し、職員は任意にて接種する。</p>	<p>H.21.10.30(金)感染症研修に受講。</p>												

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	調理用具の衛生管理を徹底する。新鮮で安全な食材を使用している。(食中毒三原則実施中・1.手洗い 2.加熱 3.迅速)		調理用具の清潔管理方法など決め、まな板、包丁、ふきんの消毒、計画的に食材の仕入れを徹底している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	建物の色をピンク、クリームにし、入居者や訪問者の視点で、あたたかい雰囲気になっている。夏は玄関先にプランターを置き、玄関にはお花を生けて季節感を感じていただける様な配慮をしている。		玄関先の掃除、窓拭き、整理整頓など外からの眺めにも気配りする。
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	利用者の家での過ごし方を知り、情報を活かしながら自分なりの活動がしやすくなるような工夫をしている。季節感のあるものをうまく活用しながら暮らしの場を整えていく。		季節になれば、畑に行き野菜を実際に収穫してもらい、皮をむいたりして、おはぎ、桜餅等を作り体験してもらう。
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	ホールには、テーブル・椅子等が設置されており、1人で新聞を読んだり、テレビを見たり、お茶を飲んだりして過ごせ、畳敷きのスペースもあり、利用者同士でくつろげるよう工夫をしている。		廊下・階段には、行事ごとの写真を展示したり、造花を飾り、楽しんでもらえるよう心掛けている。
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	自宅との環境の違いによる不安などを最少にする様、使い慣れた物を配置し、個別に相談している。		ご本人の使い慣れた家具などを部屋に置いてもらう。(布団、タンス、時計、ジュタンなど)
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	換気、居室温度調節については、確認しながら調整している。臭いなどは、悪臭の無い様に消臭剤の使用や工夫をしている。		窓を開けたり、部屋にはご本人の洗濯物を干して湿度管理をしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		<p>入居者の身体状態に合わせた手摺の取り付けがあり、居住環境が適しているかを、見直し安全確保と自立への配慮をしている。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		<p>車椅子利用者も、もっと外出散歩が出せる様に考えたいです。</p>

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	<p>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる</p> <p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>入居者の気持ちをくみ取り、一緒に暮らしている。</p>
89	<p>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある</p> <p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>ホールで一緒に、ゆっくりと過ごす。</p>
90	<p>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている</p> <p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>個室になっており、自由に暮らしていただける様支援している。</p>
91	<p>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている</p> <p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>職員は、毎日の生活の中で目配り、気配りを心がけており、明るい笑顔、姿がみられる。</p>
92	<p>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている</p> <p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>散歩、買物、屋外での飲食、外食を実施、お祭りの縁日にも出かけている。</p>
93	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている</p> <p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>定期受診の介助、緊急時の医療機関との連絡や救急車の対応を敏速に行っている。</p>
94	<p>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている</p> <p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>要望があれば柔軟に対応して叶う様に支援している。</p>
95	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています</p> <p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>ご家族の要望、考えを伝えあい、コミュニケーションを大切にして信頼関係を深めている。</p>
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>行事や避難訓練など、町内会、近隣の方々との交流があり、ご家族も頻回に来訪がある。</p>

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない ほとんどいない	地域の方や推進会議委員との交流も増えて、理解者は増えている。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 利用者の2 / 3くらいが 利用者の1 / 3くらいが ほとんどいない	元気に笑顔を絶やさず優しい気持ちで働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3くらいが 利用者の1 / 3くらいが ほとんどいない	日々の生活を通し、利用者さんの表情、行動等を見ていると概ね満足している様に思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2 / 3くらいが 家族等の1 / 3くらいが ほとんどいない	体調、行事などの報告、連絡はまめに行い信頼関係はできている。ほとんど満足されていると思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

季節の行事、催事、外出、ドライブ、また春先から秋口にかけ自家野菜(トマト、なす、きゅうり、枝豆ほか)を作り、草花を育て手入れをして利用者さんにも参加してもらいながら生活を楽しくしていきたい。